

大津市における観光地型MaaS実証実験

(国土交通省 新モビリティサービス推進事業選定(観光地型))

<実証実験の概要>

本市と京都市の一部を実験地域とし、住民と観光客を利用者として想定し、自動運転バスと四種の既存公共交通、ホテル、観光施設、小売店、飲食店等を便利かつお得に利用できるMaaSを提供し、公共交通を活用した周遊を促進する。

○実験期間:2019年11月1日～12月1日

○参画する事業者等

大津市、京阪ホールディングス株式会社、京阪バス株式会社、日本ユニシス株式会社、京都大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻空間情報学講座、地域事業者(琵琶湖ホテル他)、滋賀県、国土交通省近畿運輸局、経済産業省近畿経済産業局

○MaaSアプリの構築・提供

<対象交通手段>

鉄道、バス、ケーブル、ロープウェイ

<提供するサービス>

経路検索・チケットング(デジタルフリーパス 1日定額制、デジタルクーポン)

○特記事項

- ・交通以外のサービスとの連携 (観光施設・小売店・物販店・ホテル等の情報やクーポンの提供)
- ・デジタルスタンプラリーの実施(人流データの取得)
- ・MaaSアプリは2カ国語対応(日本語、英語)
- ・自動運転バスの実証実験を実施(11月2日～8日)

<展開エリアのイメージ>



自動運転バス

<MaaSアプリ「ことことなび」使用イメージ>

